

```
[mail]
name=E-Mail
interval=300

number_of_servers=2

name1=1&1
type1=imap
server1=imap.lund1.de
user1=user
password1=pass

name2=GMX
type2=pop3
server2=pop3.gmx.net
user2=user
password2=pass
```

MPlayerについては調べていません。興味があれば調べてみてください。

## ● lcd-stuffを試してみる

あらかじめ、LCDdを起動しておきます。lcd-stuffの起動は、

```
lcd-stuff -c LCDstuff.conf -f 0
```

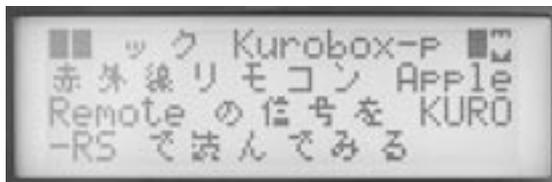
とします。-cは、設定ファイルの指定です。-f 0をつけるとバック・グラウンドで実行します。

E-mail, RSS表示の操作はUP/DOWNのキー[cursesドライバ(ターミナル)の場合は上下キー]を押すと、メールのサブジェクトなどの情報や、RSSで受信した情報が切り替わります(写真6-5)。RSSの場合は、url1の情報(たとえば10項目)→url2の情報→url3の情報の順で表示が切り替わります。

MP3ファイルのコピーは、ESCキーでlcdprocのメニューを表示し、そこからlcd-stuffのメニューに入っていくようです。

Music Player Daemon(mpd)の操作は、画面の表示中にキーを押すと以下のように動作します。

キー	再生中	一時停止中
UP	次の曲へ	停止
DOWN	一時停止	再生



(a) RSSで受信した情報



(b) mpdで再生中の曲情報

写真6-5 lcd-stuffを実行したときの表示

mpdには、あらかじめプレイ・リストを設定しておく必要があります。manykeys=1の場合は、画面の表示にかかわらず、以下のように動作します。

キー	機能
Play	再生
Pause	一時停止
Stop	停止
Next	次の曲へ
Prev	前の曲へ

となっています。ただし、Play、Pauseといったキーの割当は、lcdproc(LCDd)のデフォルトには割り当てがないので、KURO-RSを使ってリモコン操作するようにした場合のみに有効です(あるいは、lcd-stuffのsrc/mpd.cで割り当てているキーを変更すれば、ターミナルからも操作できる)。

### ● lcd-stuffへの変更について

ここでlcd-stuffへ加えた主な変更は、オリジナルに対して、文字コードをUTF-8からEUC-JPに変換するようにしたところ、MPDで次の曲へ移動したときに落ちることがあることの修正です。

## 6-5 lcdprocのキー割当とリモコン

### ● lcdprocをリモコンからコントロールする

lcdprocで利用したくなるボタンの数は意外と多いものです。液晶の横にスイッチを並べたり、できるだけスイッチを減らす工夫も楽しいのですが、ここではリモコンを利用することにしてみました。写真6-6のように液晶より大きなりモコンになってしまいましたが、便利になりました。



写真6-6 グラフィック液晶とリモコン(オーディオテクニカ AV-561)